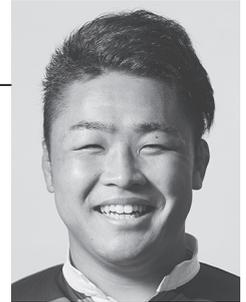


## 2. 夏合宿を終えて

### 夏合宿を終えて

主将 野 中 翔 平 (4回生・東海大仰星)



平素より同志社大学ラグビー部に対しまして様々な形で多大なるご支援を賜り誠に有難うございます。皆さま方のサポートのおかげで8月4日から24日まで北見で行われました夏合宿を有意義に過ごすことができました。主に夏合宿で得たものは個人のスキル向上とユニットでのセットプレーの向上です。チームとして試合に勝つという部分に関して注力していなかったため、夏合宿の練習試合ではOBの皆さまやファンの方々を不安にさせてしまったかもしれませんが、局面での成熟度はかなり高いレベルまでできています。後はそれをどのように大局に還元できるか、チームとして勝てるかという部分にかかっています。この部分に関しましては、そこまで長い時間を必要とするものではありません。今まで私たちが信じてきた積み重ねをしっかりと繋げ、勝てるチームにする最後の仕上げを残りの時間でやりきります。私たちは日本一になるその日まで成長し続けなければいけません。もう負けて得られるものはたくさん得ました。ここからは勝って反省し、勝って証明していくのみです。まだまだチームとして至らない点は多々あると思いますが、これからも同志社大学ラグビー部と共に闘っていただければ幸いです。

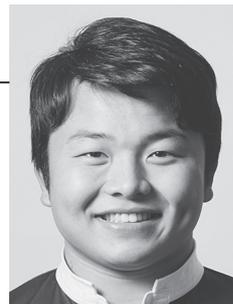
### 夏合宿風景



## 夏合宿を終えて

副将 阿部 亮介 (4回生・小倉)

今年の夏合宿は多くの課題とこれまでの練習の成果を実感できた合宿であったと思います。東海大学と筑波大学との試合では大敗をしてしまいましたが、より課題が明確化しました。今年は例年よりハードワークし、個の能力とチーム力の向上やチーム内の繋がり強化もできた為、開幕戦まで総合力に磨きをかけ、最高の準備をしていきます。夏合宿での多大な支援、本当にありがとうございました。結果で返せるようチーム一丸となり頑張りますので、今後とも応援宜しくお願い致します。



## 夏合宿を終えて

副将 丸山 尚城 (4回生・茗溪学園)

自身として最後の夏合宿は怪我人としてグラウンド外から練習や試合を見る機会が多く、普段とは異なった経験が出来ました。試合の結果をスコアだけで見れば、大差をつけられた印象を受けます。しかし、今回の合宿ではスクラム、モール、エリア取りなど場面ごとのスキル向上にフォーカスをしていた為、個人的には悪い結果だと思いません。これからはシーズンに向け、チーム練習を増やしていき、まとまりのあるチームを作り上げます。シーズンでは絶対に負けられない試合が始まるのでチーム一丸となって臨みたいと思います。応援宜しくお願いいたします。

